

令和5年度 第1回 物見山スワンの家 運営推進会議議事録

日時	令和5年 4月21日 金曜日 14:00~14:30		
場所	物見山スワンの家 会議室		
出席者	住民代表	都合により欠席	
	利用者ご家族	首藤様	
	地域包括支援センター	地域包括支援センター藤見下山 田村様	
	物見山はじめ保育園	園長先生	
	グループホーム空港西様	都合により欠席	
	施設職員	宮村(司会) 今井	スワン・パートナーズ本館より 水島 佐藤

議事

1、以下の通り事業活動報告を行いました。

① 事業活動報告

◎入居者状況

(介護度の内訳) 4月21日現在

要介護1…7名 要介護2…5名 要介護3…1名 要介護4…4名

計17名(入院中1名) 平均要介護度…2.1 平均年齢…87.4歳

2月28日男性入居者様 特養入所のため退所となりました。

4月4日空室に女性の新規入居者様が入所されました。

3月31日男性入居者が貧血と心不全のため受診しそのまま入院となりました。

4月18日1階女性入居者様転倒により救急搬送され左大腿骨骨折にて入院となりました。

20日入院中に大腸がんのため他界されました。

感染症の発生はありませんでしたが引き続き感染対策を行っています。

◎事故・ヒヤリハット(3~4月)

3月	ヒヤリハット 2件	① 昼食時、普通食を召し上がられていた方が咳込まれ、「ここに詰まった」と合図される。義歯を外して咳を促すとレンコンを吐き出される。 ② 食事時、テーブルの上のティッシュを口に運ばれようとされ、職員が止める。	① 普通食から一口大に変更し、嚥下の状態を見る ② 職員が離れる際は本人の周囲にティッシュや創作物を置かない。
3月	事故 1件	入浴時、車いす使用の方の左足の人差し指が曲がっていることに気付く。触ると痛みあり。いつからかは、わからないが整形外科受診し、脱臼の診断。	介助者が移動介助する時は足の指先に気を付ける。ぶつかる恐れのある洗面所の壁にはクッションを付ける。
4月	ヒヤリハット 2件	① 席替えをした後、歩行器使用の方が、歩行器を使用せずにトイレに向かって歩行されていた。歩く方向に歩行器が置いていなかったため。	① 席の配置を変え、左側から出る時に歩行器を掴めるように歩行器を置く。
4月	事故 3件	① 食事内容カニの禁食がある方にカニ豆腐をお出しして食べてしまった。 ② 歩行時に突然めまいがして転倒される。怪我無し。 ③ ②の入居者様立ち上がりの際転倒され救	① 食事提供だけでなく購入の際もカニを避ける ② 体調不良によるものだったため体調によりその都度付き添いなどで対応する。

	急搬送となり、左大腿骨骨折で入院となる。	③退院後再度対応を検討する。
--	----------------------	----------------

## ◎活動報告

3月 ひなまつり

1, 2階別で実施 飾り作りをしたり、ゲームや歌を歌ったりしてひな祭りを祝いました。

(職員研修) 身体拘束排除高齢者虐待防止研修 アンガーマネジメントについて

4月 お花見 いくつかのグループに分かれ近くの公園に桜を見に行きました。

久しぶりの外出に喜ばれていました。

(職員研修) 1~3月で看護師から全各職員に個別にガウンテクニックの指導を行いました。

### ③行事予定

5月 母の日 6月 外出(運動会)

### ④その他今後の予定・課題

5月中旬以降 65歳以上の方(入居者全員)と高齢者施設従事者のコロナワクチン接種を行う予定となっております。今回も以前と同様ときわ診療所様をお願いします。

コロナ感染対策については市内感染状況が低迷している為入り口でのチェックを確実にし、相談室での面会制限を解除しています。外出について大人数の場所や食事などマスクを外す以外の外出は制限解除を行いました。

### ⑤(身体拘束適正化委員会)

身体的拘束の適正化について

3月の職員研修において身体拘束排除の指針について再確認しました

玄関の鍵、ユニット出入り口の施錠については定期的に検討しています。

### ⑥苦情報告

苦情はありませんでした。

### ⑦ご意見等

・グループホームと特養はどこがちがうのか?と質問あり

→グループホームは介護が必要だけれどお手伝いがあれば共同生活ができる方が入所する場所で、比較的家事などもできる方や見守りがあれば自分のことができる方が入所される場所です。

特養については、看護師が必ず在籍しており、要介護3以上の介護度の多い方しか入ることができません。今回、男性の入居者の方は食事面や精神面で重度化し、介護度も上がったため特養の申し込みをしたところ入所に至りました。

・保育園のお子さん達は、今までコロナでできなかったが、施設訪問をととても楽しみにしているので、今後はお互いの交流を増やしていきたい。

・おはぎづくりなど、楽しそうな活動をされているのがよくわかった。今後も何かあったら地域包括支援センターとも関わっていきたい。

・身体拘束について、安全が第一であり、職員も忙しいと思うのでカギを付ける事には同意である。

→身体拘束については入所されている方が、鍵がかかっていることで「閉じ込められている」という拘束感を持たないように職員にも教育をしている所ではあります。貴重な意見として参考にします。

・職員研修として身体拘束、高齢者虐待、アンガーマネジメントを行っていることは良いことだと思った。

・園長先生の話からもコロナ感染が落ち着いてきてやっと地域交流が始まるきざしがみえてきた。